

『日本法育研究』投稿規定

基本理念に基づく論文であること

(基本理念)

- 1、『日本法育研究』(以下、本誌)は、主体的・自律的に生きる市民を育成するための教育に関する研究を目的として発行する。したがって、本誌への投稿者も編集委員も基本的人権を尊重し、かつ、研究者としての倫理に抵触しないように注意する。

(研究倫理)

- 2、本誌への投稿にあたっては、研究者倫理を厳格に守らなければならない。初めての投稿であり、かつ、独自性があることが必要とされる。二重投稿、盗用、データの捏造などは許されない。

(掲載されるもの)

- 3、本誌は、研究大会で発表・表出されたものと、投稿されたもので構成される。いずれも、査読を受けて、掲載を認められる必要がある。掲載されるものは、「論説」、「講演」、「個別研究発表」、「シンポジウム」、「その他」とする。

(原稿の分量)

- 4、「論説」と「個別研究発表」は、図表などを含めて、20000字を目安とする。

(原稿提出方法)

- 5、原稿は、原則として、ワード、エクセルで作成するものとし、データを編集委員会(編集事務局)へメールに添付して提出する。用紙の大きさは、A4版縦、1ページは1200字(40字×30行)の横書きとする。

(引用文献)

- 6、文献の引用については、法律編集者懇話会発行の「法律文献等の出典の表示方法」に従う。注については、論文末にまとめて記載する。なお、詳細は執筆要領参照。

(抜き刷り)

- 7、抜き刷りは、希望があれば、投稿者の負担で作成することができる。